



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 3月14日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン 第5回団体交渉

制度改善要求・夏季手当について協議

社内通研修了試験の追加実施、Jネット端末のキャビネット容量増を確認！

JR東海ユニオンは3月8日、2022春季生活闘争の第5回団体交渉を行い、制度改善要求の内、グループ・関係会社の労働条件改善をはじめ、夏季手当について協議した。

交渉では会社から、社内通研修了試験の追加実施、Jネット端末のキャビネット容量の増などが示された。また、夏季手当について、JR東海ユニオンは「長期化するコロナ禍の中、安全・安定輸送の堅持をはじめ、医療等各種サービスの提供や中央新幹線建設の推進など、組合員は一丸となって社業の発展に貢献してきた。組合員の労苦に報いることが肝要であり、満額回答に十分値するものである」と強く主張した。一方会社は、「2期連続で経常赤字予想の状況の中で安定支給ベースの議論ができる環境ではなく、夏季手当の支給にあたっては厳しい判断とならざるを得ない」と、慎重な態度に終始した。

JR東海ユニオンは、組合員のこれまでの努力に報いるべく、「ハートフルカンパニー」の実現に向け、引き続き、粘り強い交渉を展開していくこととしている。

【主な議論（主張）内容】 ※下線部は、現時点で前進を確認した事項

II 制度改善要求について

○グループ・関係会社の労働条件

人材確保、諸労働条件改善、業務委託費・労務費の見直し、グループ支援策、保守間合いの拡大、出向先企業の諸労働条件改善

○その他

コロナ禍における各種対応、法改正対応、同一労働・同一賃金

III 夏季手当について

○支給月数：基準内賃金及び補償措置額の2.7箇月 ○支給日：6月30日

支給判断基準、安定支給に関する会社認識、組合員の頑張り、輸送状況、景気動向、会社業績（決算、手元資金、コスト削減）、世間相場、働きがい・やりがいの醸成

など